

# ため池タイムライン (翠池)

気象情報 時間軸	事象・気象情報		水位情報		参考		ため池諸元		
	事象	気象情報 土砂キキクル (大雨警報(土砂災害)危険度分布)	各務原市		ため池栓 操作者	周知すべき 住民の行動	気象情報 洪水キキクル (洪水警報危険度分布)	関係者連絡先	
			農政課	防災対策課				ため池管理者	
3日前 -72h	大雨の可能性がある  大雨の可能性が高くなる  ため池損壊に及ぶ大雨の恐れがある	前線移動等による豪雨予測	<b>ため池の貯水位確認</b> 各種協力機関の体制確認  <b>重大な異常の把握</b>		ため池の貯水位等確認 <b>重大な異常の発見</b>	○浸水想定区域図及び避難経路等確認  ○緊急避難行動		貯水量 13,000m3 堤高 5.3m 洪水吐形式 水路流入型 改修歴	
-48h	大雨が始まる、降雨の強さが増す  ため池の重大な損壊に繋がる豪雨の恐れがある		<b>ため池の貯水位確認</b> 土砂キキクル等気象情報を注意深く確認		ため池の貯水位等確認	○インターネット等による大雨、河川の状況確認(土砂、洪水キキクル) ※必要に応じて避難準備			
-24h		<b>【警戒レベル2相当】 大雨注意報</b>  キキクル危険度「注意」	<b>水位予測の確認</b>  水位予測の確認	農政課 防災対策課	※警戒レベルが高い時は待機 ため池に近づかない	<b>避難行動は日中での実施が原則!</b>  ○避難準備	<b>【警戒レベル2相当】 大雨注意報 洪水注意報 氾濫注意情報</b>  キキクル危険度「注意」		
	ため池上流等、土砂災害発生の危険度高まる	<b>【警戒レベル3相当】 大雨警報(土砂災害)</b>  キキクル危険度「警戒」	<b>水位予測の確認</b>  下流河川への注意情報伝達		大雨警報が発令され、かつ、洪水吐が避難判断水位(警戒レベル3相当)に達した場合、 <b>高齢者避難発令</b>	<b>○高齢者等避難行動(LV3)</b>	<b>【警戒レベル3相当】 大雨警報(浸水害) 洪水警報 氾濫警戒情報</b>  キキクル危険度「警戒」		
		<b>【警戒レベル4相当】 土砂災害警戒情報</b>  キキクル危険度「危険」	<b>水位予測の確認</b>  下流河川への警戒情報伝達		洪水吐が危険水位(警戒レベル4相当)に達した場合、 <b>避難指示発令</b>	<b>○避難行動(LV4) 土砂災害・洪水ハザードマップと同時にため池ハザードマップの情報にも留意</b>	<b>【警戒レベル4相当】 氾濫危険情報</b>  キキクル危険度「危険」		
	<b>ため池被災の危険性増大</b>	<b>【警戒レベル5相当】 大雨特別警報(土砂災害)</b>  キキクル危険度「災害切迫」			ため池水位が堤頂(警戒レベル5相当)に達した場合、 <b>緊急安全確保発令</b>	<b>○緊急安全確保</b>	<b>【警戒レベル5相当】 大雨特別警報(浸水害) 氾濫発生情報 キキクル危険度「災害切迫」</b>		
解除後	<b>ため池損壊等異常発見</b>		<b>大雨特別警報解除後、緊急点検を実施・報告</b> <b>重大な異常の発見</b>  緊急放流、補修による応急復旧対策 その後、緊急補修対策		情報共有 異常による緊急安全確保	<b>○緊急避難行動</b>			

事前の備え・情報収集

気象庁  
気象庁ホームページ

各務原市「情報メール」  
登録はこちら →

または、t-kakamigahara@sg-p.jp  
まで空メールを送信

キキクルはここを押す

水位監視による危険度予測 (洪水吐水位)

堤体天端  
洪水吐天端  
洪水吐高さ  
洪水吐底 (F.W.L.)

水位が洪水吐高さの  
1/2以上 危険  
1/10以上 注意

洪水吐とは？

満水位以上の水が流入する時に、堤体を越えて水があふれないよう自然に水を放流する施設です。

○洪水吐の設計基準  
・200年に1度の規模の降雨でも安全に放流可能  
・流木等で閉塞しない大きさ

地震発生時の対応

○震度5弱以上の地震発生後(堤高1.5m以上のため池は震度4以上)  
・ため池管理アプリにて緊急点検を実施・報告

○堤体の沈下、クラック、漏水等の異常を発見した場合  
・市町村へ異常を報告、下流住民の避難を実施  
・緊急放流、補修等を実施

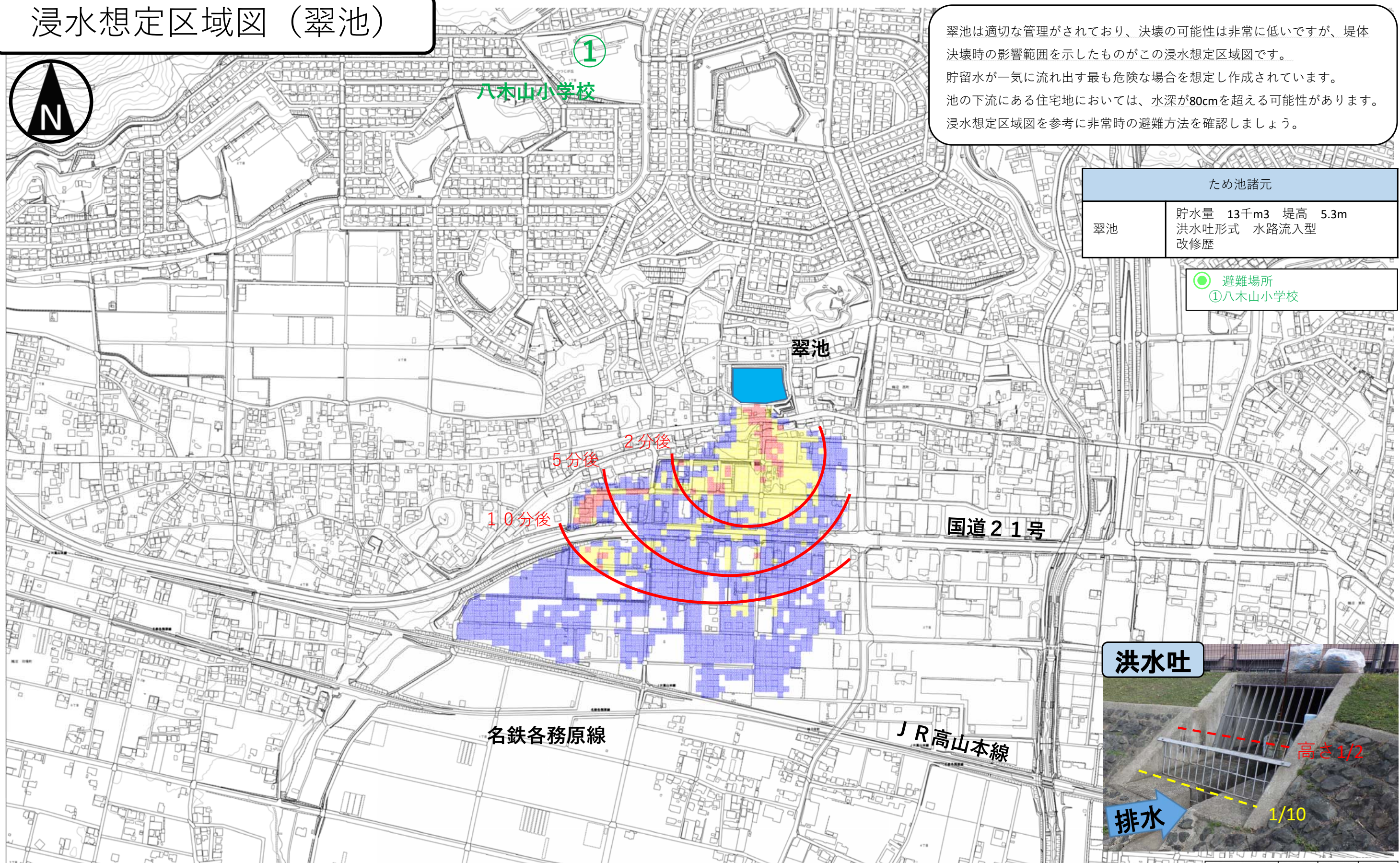
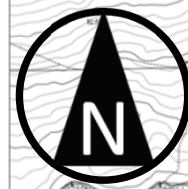
防災行政無線、各務原市「情報メール」

○防災行政無線  
風水害・土砂災害時等の避難指示など緊急の情報をお知らせします。  
○各務原市「情報メール」  
防災情報を含めた暮らしに役立つ情報を携帯電話などに「メール配信」します。

ため池の役割

本ため池の下流にて約12戸の農家が農業用水として利用しています。  
また、ため池は降雨時に雨水を一時的にためる洪水調整や土砂流出の防止などの役割を持っています。

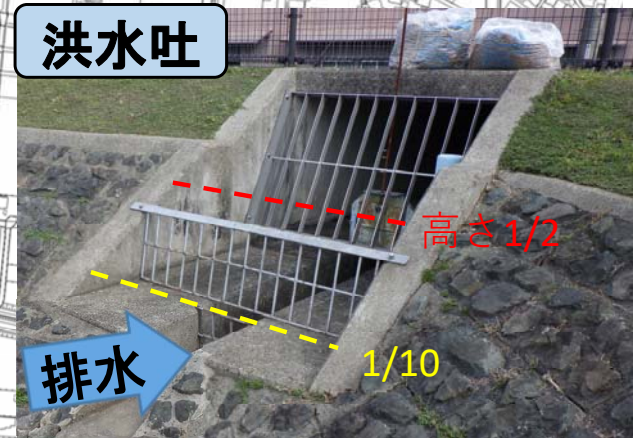
# 浸水想定区域図（翠池）



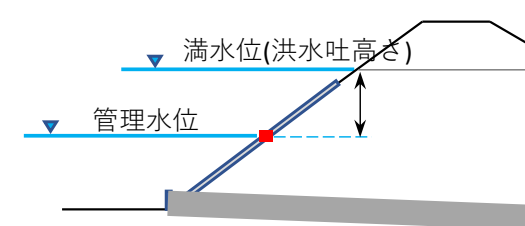
翠池は適切な管理がされており、決壊の可能性は非常に低いですが、堤体決壊時の影響範囲を示したものがこの浸水想定区域図です。  
貯留水が一気に流れ出す最も危険な場合を想定し作成されています。  
池の下流にある住宅地においては、水深が80cmを超える可能性があります。  
浸水想定区域図を参考に非常時の避難方法を確認しましょう。

ため池諸元	
翠池	貯水量 13千m <sup>3</sup> 堤高 5.3m 洪水吐形式 水路流入型 改修歴

● 避難場所  
①八木山小学校



## ため池管理水位



農閑期には、低水位管理を行うことで地震による決壊被害を小さくできます。  
大雨や台風通過が予測される際には、事前に水位を下げておくことで越水や決壊のリスクを小さくできます。

翠池 管理状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>草刈り： 草刈り時に堤体及び施設の点検（ため池管理アプリや点検チェックシートによる）</li> <li>管理水位：左記による</li> <li>管理手法について ため池管理マニュアル⇒</li> </ul>

ため池上流域について
上流域は、土砂災害特別警戒区域に指定されているため、注意が必要です。

歩行困難度判定	水が浸かる深さ	
	浅い	深い
水が流れる速さ	遅い (0.5m/s)	可能
	速い (1.0m/s)	危険